



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 12

令和5年1月18日

校長 広見 理恵

大切にしたい「言葉」



新しい年になりました。本年も宜しく願いいたします。

三学期に入り、子どもたちがぐっと落ち着いて学校に戻ってきたように感じます。

保護者の皆様との冬休みの過ごし方がきっと充実していたからなのでしょう。

三学期の始業式では、「大切にしたい言葉」の話をしました。

この冬休みに、6年生の卒業文集の下書きを読ませてもらう機会を得ました。6年生一人ひとりが「大切にしたい言葉」を一つ選び、なぜその言葉を選んだのかの理由を自分の体験と重ね合わせたり、選んだ言葉をこれからの人生にどう活かしていくかについて考えたりと、一人ひとりの「言葉に込めた思い」の作文を読み、その真摯な言葉に心うたれました。始業式では全校児童にいくつかの6年生の言葉を紹介した後、私が昨年心に残った言葉も合わせて紹介しました。

人が人であるために「言葉」は非常に重い価値をもちます。人は「言葉」によって心を育み、自分を表現し、相手を理解することができる。その言葉が自分の心に響くのは、これまでの自分の体験を重ね合わせ、言葉の裏にある重みを感じとるからでしょう。

ぜひ安宅っ子には「言葉」を大切にする子に育ててほしいと考えています。

保護者の皆様、今年も宜しく願いいたします。



- ・努力は報われる。報われない努力は努力とは呼べない(王貞治)
- ・人生に無駄はない。活かすも殺すも自分次第(田中将大)
- ・人生にとって大切なのは、忍耐力と自信(キューリー夫人)
- ・勝っておごらず 負けてくじけず(福沢諭吉)
- ・意志あるところに未来は拓ける(リンカーン)
- ・負けたら終わりではない。やめたら終わりなのだ(ニクソン)
- ・挑戦なくして成功なし(エジソン)

6年生「大切にしたい言葉」

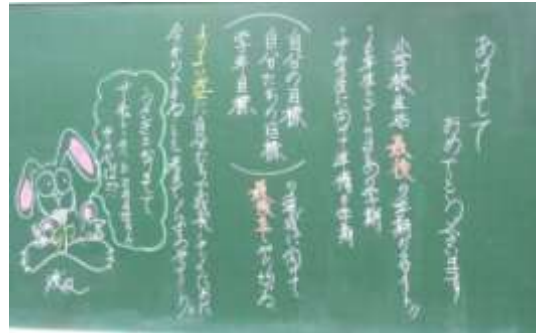
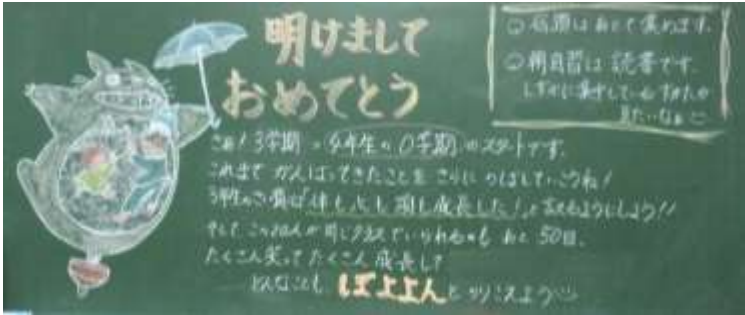
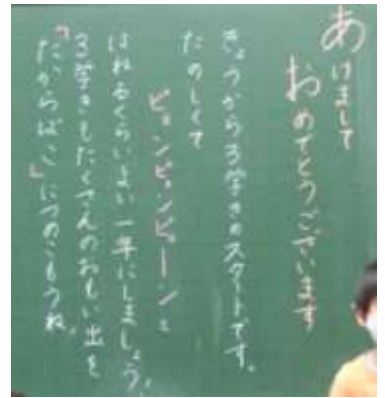
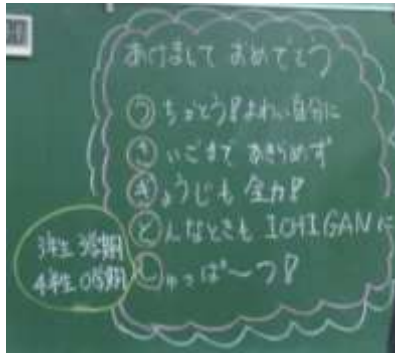
- ・自分を変えるのは自分自身
- ・自分で変われるのが人間の強さ
- ・経験は人を強くする
- ・努力は人を裏切らない
- ・笑うから楽しいのだ
- ・雲の上はいつも晴れ
- ・いつも本気でやれ
- ・いってらっしゃい



始業式で紹介した、6年生が卒業文集用に書いた「大切にしたい言葉」の一部です。過去の名言や今を生きる言葉など、6年生一人ひとりが卒業という節目で、しっかりと自分の未来に向き合っていることを頼もしく感じました。

私が心に残った言葉として紹介したのは、サッカー長友佑都選手の「リバウンドメンタリティ」という言葉です。「うまくいかないときに、自分の心を回復させる精神力」という意味で「逆境下での自己復元力」のことを指すそうです。人生はうまくいくことはばかりではない。安宅っ子には、腐らず、投げ出さず、落ち込みすぎず、自分の人生と向き合って生きていくたくましさ大切にしたいと思っています。

黒板に思いを込めて



始業式の日各教室の黒板には、それぞれの担任が思いを込めた言葉や絵が書かれており、久しぶりに登校した子どもたちも嬉しそうに黒板を眺めていました。



字は心を表す

1月10日始業式後、書き初めを行いました。どの子も真剣に字と向き合っていました。「名は体を表す」ではないですが「字は心を表す」。元気な字、のびのびとした字、きちんとした字、勢いのある字、優しい字・・・今年も一人一人の良さを伸ばしていける一年になりますように。

